



No. **39**
 発行者 沼津市商工会
 会長 松永公良
 〈本所・原支所〉沼津市原1200番地の1
 TEL (055) 966-1331 FAX (055) 967-4925
 〈戸田支所〉沼津市戸田1028番地の5
 TEL (0558) 94-2224 FAX (0558) 94-4029
 編集 沼津市商工会広報委員会



サウジアラビア「ジヤナドリア祭」の日本館VIPルームで地元茶を振る舞いPR (4面に詳細)

サウジアラビア
 「ジヤナドリア祭」に参加して



沼津市商工会サウジ派遣団長
 (特産品開発部会長)
 大村 保二

沼津市商工会では地元の特産品であるお茶をテーマに特産品の開発や販路拡大を行って参りました。特産品開発では、生茶葉をいつでも利用できるようにする冷凍技術の開発や、茶の実を活用した高品質な茶の油の開発、また、生茶葉や粉末茶を使った食材等の開発などに取り組んでいます。販路の拡大では、今回、海外市場の開拓を目指して、サウジアラビアで行われたジヤナドリア祭で地元茶のPRを行ってきました。この祭は、サウジが国家的に推進し毎年百万人以上が参加する国王主催の同国最大の文化の祭典です。

この祭に日本がゲスト国として選ばれ、日本の歴史、文

化、技術等を紹介する絶好の機会です。この機に日本の食文化である地元産のお茶(ジャパニーズ グリーン ティーフジサンと命名)をサウジの日本大使公邸でのレセプションやジヤナドリア祭日本館のビッブルームで接茶及び地元茶の紹介を行いました。

サウジでは紅茶やコーヒーが主流で特に砂糖を多く入れて飲まれています。そんな中、肥満体質や糖尿病が増え、健康に良いとされる日本茶に変興味を示して頂きました。サウジにはまだ日本茶が入っていませんが、日本食レストランも数軒進出し始めこれから徐々に広がってくるものと思われれます。この祭典には地元メディアをはじめ日本からもTV二社が訪れ地元の皆さんとの交流を取材していました。今回日本で起きた大震災や原発放射能事故も心配していくつかの質問もありましたが、非常に親日的で日本の高品質な品物や技術を高く評価しておりました。

沼津市商工会では又とないこの機を捉え地元のお茶の販路拡大に取り組みしていきたいと思っております。

■商業部会

個店の「売り」を明確に

沼津市商工会として歩み始めて早いもので四年目を迎えます。景気は相変わらず右肩下がりですが、中でも商業関係の環境は厳しいものになっていきます。しかし、ただ手をこまねいていても仕方ありません。大型店等より勝るところ、良い商品の提供はもちろん、商品知識とか、アフターサービスの良さとか、自分の店の「売り」を明確にすることで。また、各店舗でできる事は自分で、お客様へのサービス事業やイベントの開催などを企画したり勉強会の開催などは商工会のような組織を活用する事も積極的に行なわなければと考えます。原と戸田、それぞれの地域性や事業内容など異なる面もありますが、逆にそれらを重ね合わせる事により地域性を

に向けて 成功裏に終了

利用し合い発展させていければ、より大きな輪となつて活動できるかと考えます。 私たち商店主も地域社会のよき一員であると同時に

地域の方々に「自分のお店」と思ってもらえるよう目指しましょう。(部会長 中嶋國晴)

■観光サービス部会

地域の盛り上げに全力

四月二十二日に部会総会が行われ、昨年度の事業報告及び今年度の事業計画が承認されました。

昨年度は補助金を得て、原ではお茶を活用した特産品の開発と海外展開を、戸田ではB級グルメ「へだトロはんぺん」と修学旅行受入による体験型観光の創出を行いました。「あきんどつとCOM」のリニューアルも近日中に予定されております。

東日本大震災の影響について、特に戸田地区での影響は



商業部会

甚大であり、商工会全体として取り組まなければならない課題です。部会長からも、県連に「商工会の視察・旅行は伊豆へ」という要望を上げていくという話もありました。

夏まつりなどのイベントについても、なるべく開催する方向で地域を盛り上げていく必要を感じました。(副部会長 坂口善嗣)

■工業部会

組織強化と会員増強

平成二十二年度事業報告では、①ふるさと産業祭出展による地元商工業の振興や会員事業所のPR②仮想工業団地(しずおかインダストリアルパーク)に参画し受注機会等の推進③幹事会にて『我が社を語る』を実施し、情報交換



観光サービス部会

・研修の場として効果を得られたことが報告されました。平成二十三年度事業計画は、さらに組織強化と会員増強及び会員交流の促進を図ることを確認しました。

また東日本大震災の影響等の報告があり、過去に例のない大変厳しい状況下にあることを再認識しました。日本全体の産業構造や経済環境が激変しそうな様相を示す荒波の中に私たち工業部も入っているといっても過言ではありません。最後に東海地震の対応策(避難訓練・対応のマニュアル化・防災グッズの準備等)が話題になり「心構えこそ大切」という結論に達して総会を終了しました。(副部会長 横島公一)



工業部会

JAなんすん 原支店
TEL(055)966-0600 FAX(055)966-0722

三島信用金庫 原町支店
TEL(055)966-1511

沼津信用金庫 原支店
TEL(055)967-6567

静岡銀行 原町支店
TEL(055)966-1010 FAX(055)966-8309



部会終了後の懇親会

合併後の商工会が今後大きく育つことを願って、原で「キンモクセイ」戸田で「タチバナ」が植えられました。かつて経験したことがない東日本大震災から一か月しか経っていない現在においては復興についての道標はまだまだ何も見えてこないのが現状ですが、いずれにしても厳しい状況が続くことは間違いありません。

4/22 総代会 部会総会

■建設業
■関連部会 ■
「知恵と頑張り」
で乗り切る
平成二十二年度の
の事業では、五十
周年記念事業で記
念植樹を担当し、



建設業関連部会

経済の衰退と少子化による影響で大きく落ち込んでいる建設業界ですが、部会員百九十二社が「知恵と頑張り」をもって新年度を乗り切って欲しい。そうすれば、その先にはきっと明るさが見えてくる。新年度の事業計画では、プラス思考で対処し、前年度の活動を自粛することなく積極的に推進していくことを確認した。(部会長 久保田正彦)

■原支所青年部

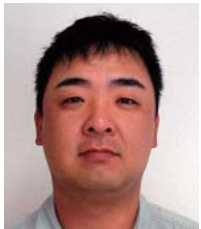
活動、イベントを活発に
原支所青年部通常部員総会が四月二十八日に開催されました。昨年度は九名の部員でのスタートで、不安いっぱい的一年でしたが、無事に様々な活動をこなすことができました。



原支所青年部

今年には二名の新入部員が入り、十一名体制でのスタートです。これからも、青年部に興味を持って入部してくれる人を少しでも増やすため、様々な活動、イベントなど楽しくやっていきたいと思えます。(原支所青年部副部長 杉山英樹)

■戸田支所青年部



戸田支所
新青年部長
成田 光位

はじめまして、平成二十三年度沼津市商工会戸田支所青年部部長を務めることになりました成田です。

私は、主に地域の活性化



戸田支所青年部総会

となつて取り組みます。

さて、この度の東日本大震災により多くの尊い生命が失われたことに、深い哀悼の意を表します。また、被災地の皆様は心よりお見舞い申し上げます。沼津市商工会青年部として、支援活動を考えております。戸田地区においては、観光に大きな影響を与え、飲食業や宿泊業のキャンセルが続いています。このような時こそ、青年部は地域のイベントや祭りなどに積極的に参加し、盛り上げていくことにより、地域の活性化に協力していきたいと思えます。(戸田支所青年部長 成田光位)

のため、さまざまに行事に参加し活動して恒例の行事がほとんど、毎年積み重ねてきた経験を活かし、部員一丸

西伊豆/へだがんせん
海のはる いさば
■夕日海岸物語■
〒410-3402
沼津市戸田美浜海岸3878-20
TEL 0558-94-3048(代)
URL <http://www.isaba.co.jp>

食中毒予防の決め手はあなたの手
沼津食品衛生協会 戸田支部
支部長 真野雄二
事務局 沼津市商工会 戸田支所
0558-94-2224
企業の繁栄と社会貢献
沼津法人会 戸田支部
支部長 中島寿之

— 創業明治参年 味わいの宿 —
ときわや
高足ガニとエビカニづくしの磯料理
TEL 0558-94-3333
フリーダイヤルTEL 0120-04-1260
ホームページ <http://tokiwaya.info>

夏まつり実施決定

第34回 原・浮島ふるさと夏まつり

四月二十五日の原・浮島ふるさと夏まつり企画委員会... 検討した結果、本年度の夏まつりは、例年通り花火と各種イベントを実施することになりました。東日本大震災の影響と各企業からの寄付金の減少が心配されますが、このような状況だからこそ自粛しないで実施し、万一寄付金が減少した場合には、縮小した予算内で実施することを確認しました。

第32回 戸田港まつり

「がんばれ日本! 東日本大震災チャリティイベント」が七月二十三日(土)に開催されます。

今年、開催環境としては実に厳しい。しかし、皆で力を合わせ、地域を元気にと役員は意気軒昂。開催内容は花火をはじめとし、予算を睨みながら、事務局は商工会から観光協会に移りましたが、商工会は全面的な協力体制で臨みます。

サウジアラビア派遣報告

今回の派遣目的は、地元茶の海外市場展開のきっかけを掴むというものでした。なぜサウジなのか、①サウジ最大の国民的文化イベント「ジャナドリヤ祭」に日本がゲスト国に選ばれ、日本館設置が決まったこと、②サウジには日本茶が進出していないこと、③

会員から地元茶展示の話が持ち込まれ、また外務省や農林省等の協力支援が得られたこと、などより産地が直接海外と取引することは、たいへん難しいのが現実です。しかし、今回は、会員が連携して挑戦すること、海外展開を研修することなど、この取組み自体を勉強の機会と捉えて準備を行いました。派遣の直前に、東日本大震災があり、実施が中止かの大議論にもなりましたが、派遣団を、大村保二派遣団長、茶生産者でお茶インストラクターの野崎さんと

みさんと伊藤由美子さん、商工会事務局職員の四名に絞って派遣に踏み切りました。四月十一日、羽田から香港・バーレーン経由で約十八時間かかって漸く首都リヤドの空港に到着。翌日は、日本大使館主催の祭り前夜を祝うレセプションで、三百人のサウジ要人に一人ひとりお茶を淹れ、事前に用意したパンフレ



日本大使館でのサウジ要人への接茶



祭会場日本館前。連日長い行列、30万人が来場。



広大な祭会場、夜は人・人・人...

ットで説明をし、お茶を振る舞いました。味はもちろん、健康的な飲み物としても関心が高く、たいへん好評でした。祭は、十三日から十九日まで開催されたのですが、我々は十五日の出国まで、日本館のVIPルームで、訪れた方々にお茶を振る舞いました。サウジの印象は、非常に親日であること、特にマンガやJポップの知名度は凄く、また、工業製品は高度で繊細な技術で高い信頼性を得ていると感じました。最後に、サウジのお茶市場については、健康志向や日本最良等から、日本茶を受け入れる状況が出来るつつあると感じ、とにかく果敢に挑戦していく時期ではないかと思いません。

6月の行事予定

- 5月 26日 平成23年度通常総代会
- 5月 27日 労働保険加入促進業務説明会
- 5月 30日 商工会連合会通常総会
- 6月 3日 共済業務等担当者研修会
- 原支所
- 5月 30日 原・浮島ふるさと夏まつり実行委員会正副会議及び全体会議
- 6月 3日 マル経協議会



社団法人 沼津法人会 原支部

めざします企業の繁栄と社会への貢献



地域を育み、大陸をつなぐ

沼津西ロータリークラブ テーマ クラブ奉仕を通じて地域への貢献を